



はまなすの実



—第 27 号—

北海道文教大学同窓会つるの会会報

発行責任者

つるの会 会長 後藤田倫子

発行 平成31年1月31日

網走支部会を開催しました！



平成 30 年 7 月 21 日（土）に、つるの会網走支部会が網走市にて開催されました。講演は、LS 北見のトレーナーのスポーツクラブ PHYSIT CONDITIONING 大森達也氏から、カーリングのオリンピック秘話や、ゴシゴシと氷の上をブラシでこするのに、どんなに力と持久力が必要かということで、上腕筋ががっしりした T シャツ姿の選手の写真が内緒ですけどと投影していただいたり、相手を肯定し持ち上げていく大切さ、「そだねー」効果のことなどを御教示いただきました。

講演後、同会場で懇親会が行われました。懇親会は斎藤支部長、後藤田会長の御挨拶ではじまり、今年 4 月から学長に就任された渡部先生からの御挨拶（別記）もいただいた後、歓談が始まり、ご出席された皆様は懐かしい方々との再会に、気分は学生時代に返って、終始笑顔で会話が弾み、瞬間間の時間の懇親会は盛会に終わりました。

【文責：槌本浩司】

第 27 号 記事一覧

- P1,2,3 網走支部会
- P4 よちみち
- P5 OB・OG 訪問
- P6 研究助成金の募集と変更点について
- P7 平成 30 年度事業経過報告、決算見込み
平成 31 年度予算案
- P8 平成 30 年度総会案内、掲示板、編集後記

同窓会室から

同窓会室は、大学 1 号館 2 階に位置しています。次の時間帯に在室しておりますので、電話連絡やお越しの際はご注意ください。



同窓会室の在室時間は
月、火、金曜日
1.0時から1.4時まで

網走支部会を開催しました！

平成30年7月21日、初夏の日差しが心地良い季節、網走市にて、網走支部会を開催させていただきました。講演会には、L S北見トレーナーの大森達也氏をお招きし、「トレーナーからみたカーリングの魅力」との題目でお話し頂きました。日本中が注目し、平昌オリンピックでも大きな話題となった女子カーリング。銅メダルに輝いた事は大きな話題となったこともあり、とても興味深いお話をお聞きする事が出来ました。

懇親会会場は「北天の丘 あばしり湖鶴雅リゾート」で、「懐かしのわが母校」と題したDVD鑑賞では、北海道栄養短期大学校舎での盛沢山の思い出に花が咲き、多に盛り上がり、楽しい一時を過ごしました。北海道文教大学、渡部俊弘学長には、お忙しい中ご参加頂き、同窓会への協賛を頂戴致し、大変感謝しております。文教大学は恵庭市に聳え立つ素晴らしい校舎となり、そして、オホーツクの広い地域で、同窓生が学び舎を後に御活躍している事を得、この会を終えることができました。

網走支部支部長 食物栄養学科 17 期 齊藤千香子（旧姓浜口）



＜講話＞ トレーナーから見たカーリングの魅力～銅メダルの裏に隠された真実 講師 スポーツクラブ PHYSIT CONDITIONING 大森 達也様

カーリングは氷の上に石をすべらせて、どれだけの的の中心に石を置いていけるかというスポーツです。カーリングという名前は、英語では Curling で、Curl は、「曲がる」という意味ですね。使う道具は石とブラシです。石はスコットランド産の花崗岩を使用していて、重さは約 2kg もあり、ひとつとして全く同じというものは存在しません。石が持つ個性もゲームに影響が出てきます。チームは 5 名で、実際にゲームに出場するのは 4 名です。ゲームは 1 チーム 4 人の 2 つのチームが 1 人 2 投ずつストーンを円に向かって投げ、両チームの選手全員が 2 回投げて 1 エンド、これを 10 回行い、円の中心に最も近いストーンのチームがそのエンドの勝者になります。勝ったチームの得点は相手のチームのストーンよりさらに中心に近いストーンの数だけ得点となります。試合時間はシンキングタイム含めて 38 分間で、持ち時間を超えても負けとなります。ストーンを投げた後、選手がブラシで氷上を掃く（スィープ）ことによって微妙なカーブや速度の調整をしていますよね。実は、氷上をあのスピードでゴシゴシするのって、すごく大変なんです。スィープは 1 試合で 20 秒程度を 60 回行うんですね。それをやりとげて、息があがっていないんですから、やっぱりオリンピック選手ってすごいんですね。内緒ですけど（上腕筋のがっしりした T シャツ姿の選手の写真投影：会場「ワーッ！！」）、やっぱりこれぐらいでないと、できないんですね。

みんなが話していた言葉が流行っていたようでしたが、「そだねー」効果といいましょうか、とにかく相手を肯定し、持ち上げていくことって大事ですよね。たとえば、「ヤップ、ヤップ、ヤップ！」と言っていたのは、イエスの砕けた言い方で、ブラシでスィープしているのを促して、「そう！」「いいよ！」「いいよ！」っていう意味なんです。いい意味でのコミュニケーションはとても大事だと思って実践してもらっています。食事の調整もトレーナーの私が担当しますが、もぐもぐタイムが目浴びているのを知って、北見市の「赤いサイロ」出したら、選手も喜んで食べたのですが、周りの反響のがとても大きくて、驚きました。



懇親会 ご挨拶 北海道文教大学学長 渡部俊弘



私は日高門別富川生まれで、苫小牧の高校卒業後、東京農大に入学し大学院を経て、昭和 52 年に藤野にあった鶴岡学園の栄養短大で働き始めました。当時は食品化学実験と栄養学と担当し、その後恵庭に移転致しました。平成元年に母校の東京農大のキャンパスが網走に移転したことをきっかけに、2018 年 3 月まで副学長を勤めておりました。以前から鶴岡学園の鈴木理事長から声がかかっていたこともあり、鶴岡学園の理事会の学長推薦委員会を経て 4 月から学長として勤めています。

現在、全国には約 800 の大学がありますが、これからは、大学が潰れていく非常に厳しい時代になると感じています。この時代に、どのように大学を続けていくか考えた時、同窓会の力をお借りし、同窓会と大学が上手く繋がるやりかたを作っていかなければならないと考えています。4 月に後藤田会長とお会いしたときに、大学が同窓会とうまくやっていきたい旨をお伝えしたところ、今日この会に参加する段取りをつけていただき、ご参加させていただくことに至りました。

現在の文教大学は、昭和 62 年に短大の食物栄養学科が恵庭に先行して移ってきて、その後、平成 11 年に外国学部で 4 大がスタートして、今は 2 学部 6 学科ありまして、定員が 1 学年 550 人、全体で 2200 人まで大きくなりました。同窓生の皆さんにも大きくなった大学を見に、恵庭に来て頂けるよう、同窓会と一緒にそのような企画を具体的に考えていけたらなと思っています。

現在は学生の 1 割くらいが本州からきています。外国語学部には、いろいろな国から留学して来ています。ふたつめとして、今後はもう少しグローバル化を目指し、海外からの留学生を増やしたいと考えています。現在の医療系の学科では、厚生労働省の考えている地域包括ケアを進め、看護、栄養といった部分では横の連携を強化していきたいと考えています。これに絡めて、恵庭市の自治体を中心に、子どもと高齢者にスポットをあて、オーストラリアで非常に発展しているレクリエーションを学ぶ学問を活用した、幼児教育も連携して進めていければなと考えています。具体的には町内会のような地域の単位で、協力し地域を活性化させていくようなシステムを自治体中心に行い、恵庭市と関連企業などと協働して、新しい地域包括ケアを行うという方法です。このような取り組みを行って、昭和 17 年に鶴岡先生が創設した鶴岡学園の北海道文教大学を強化して大学が北海道に残っていけるよう、様々な取り組みを行っていききたいと考えています。同窓生のみなさんには鶴岡先生が創設された北海道文教大学を応援していただけるよう、ご協力をお願いしたいと思い、同時に、同窓生の皆さんが、北海道文教大学を卒業したことを誇りに思えるような、学園にしたいと考えています。

＜支部会員からのメッセージ＞

・食物栄養学科第 4 期 多田真知子さん（旧姓 藤井）

つるの会網走支部の開催おめでとうございます。ご案内を頂き、半世紀も前になる 1 年時の寮生活や 2 年時からの鉄藤野沢駅から長い坂を歩いて短大まで通ったことなど懐かしく思い出しています。今回は都合により欠席させていただきますが、次回は同行者を探し、参加させて頂きたく思います。ご案内ありがとうございました。

このほか、次の会員からもメッセージを頂きました。

幼児教育 13 期 石田加保子さん、
幼児教育 10 期 阿部やす子（旧姓 曾我）さん
食物栄養学科 17 期 庭野敏子（旧姓 鈴木）さん
食物栄養学科 6 期 櫻澤倫子（旧姓 高坂）さん
健康栄養学科 8 期生 佐藤雅弘さん
幼児教育学科 12 期 矢部明美さん
こども発達学科 3 期 上田真依さん



よりみち VOL.13 ～だて歴史の杜食育センター



住所 伊達市梅本町 71-8 TEL 0142-82-3591
営業日 月曜～土曜（祝日は除く）
営業時間 11:00～15:00（ラストオーダー 14:30）
※（本日の給食は、12:30 がラストオーダー）

平成 30 年 1 月に北海道で初めて PFI 方式で作られた学校給食センター『だて歴史の杜食育センター』ができました。今回は、その施設で給食センターとレストラン（以下、E スプーン）の運営に携わっている、食物 35 期卒 桐越 大さんから E スプーンについてご紹介いただきました。

だて歴史の杜食育センターは、TV や雑誌の取材を受けるなど、多くの関心を集めています。それは、伊達市内（壮瞥町含む）17 校 3000 食の給食を提供する傍ら、一般に開放された食育レストラン「E スプーン」を併設している点です。E スプーンでは、その日提供されている学校給食が食べられるだけでなく、伊達産のブラン



ド豚『黄金豚』を使用した定食や地元のパン屋さんから仕入れたツイストパンを使用した揚げパンなども提供しています。現在は、給食が食べられるレストランとして認知されていますが、今後は伊達食材を PR できるようなレストランにしていきたいと仰っていました。

【文責 須合 幸司】

揚げパン (シナモン&いちご)



もちり、ふわっとした食感がくせになります。パン自体に小麦の旨みが強くあります。

伊達産食材を使った 特製カレー



豚肉と野菜の旨みがルウに行き渡ったコクのあるカレーです。数種類のルウとスパイスを使用し、最後の一口まで楽しめます。

伊達ブランド豚 黄金豚 のしょうが焼き定食



黄金豚は仔豚の時にホエー（乳清）を与え、通常より長い飼育期間をかけて育てられる三元豚です。しょうが焼きの甘辛いタレに、黄金豚特有のコクのある脂身ときめ細かい肉の食感がとても合います。

OB・OG訪問

医療法人社団楽優会札幌なかまの杜クリニック
作業療法士 高橋那奈さん 作業療法学科7期

高橋さんが勤務する、医療法人社団楽優会札幌なかまの杜クリニックは、デイケアを併設した、精神科・心療内科・内科の診療を行うクリニックです。デイケアでは、精神障害や発達障害などを抱えた方々の、治療の支援を行っているそうです。

高橋さんの「私の仕事は、患者さんが障害を持つ前の生活に戻れるよう支援することや、戻れなくても今もっているその人の力が最大限に生かせるためのお手伝いと言えます。仕事で常に心掛けている事は、家族関係や家、仕事のスタイル、趣味・好きな事といった、個人のそれまでのライフスタイルを把握したり、どんな生きづらさや苦勞を持ってきたのか興味を持って探ったり、その人らしく生活ができるよう、人生に寄り添う仕事であることを忘れないようにすることです。」と、という言葉からは、心を砕いて患者に向き合う優しい様子が伝わってきます。高橋さんにとって、患者さんの多くは、自分より年上の方なので、リハビリ中も人生の先輩として、学ばせていただいているという気持ちで仕事に取り組んでいるそうです。

2年目を迎えて思う事は？とお聞きすると「患者さんが本当に必要としていることは何かを考えることが多くなりました。患者さんが希望を叶えていけるために、自分はその人に対しどんなかわりをしたいか考え、手探りですが声の掛け方一つ、ふるまいの一つから工夫をしてみたり。一人一人とのかかわり方は様々で、チャレンジの日々です。」とのこと。

中学生の時から医療系を目指したいと思っていた高橋さん、大学進学の際に、作業療法の分野では、手芸や工作もリハビリの一環として行われ、精神科での仕事も選択肢としてあることを知り、心理学にも興味を



持っていたこともあり作業療法士の道へ進んだそうです。「精神科に勤めることに不安がないわけではありましたが、今の職場は、先生や先輩、他のスタッフ皆さんがフォローして下さるおかげで、私がしてみたいことを実現させていただける、そして、患者さんのやってみたくとも実現させてくれる病院でした。外部での勉強の機会も多く、学会発表もさせていただきました。」と、充実した日々に満足なようです。ナイトケアなど、日によっては午後から夜間の勤務もあり忙しい日々と聞いていますが、楽しそうに日々の事をお話しされ、周囲の方にも恵まれていると感謝の言葉も忘れない高橋さんです。学生時代は、吹奏楽部で活躍し、最近と同僚に誘われて始めたマラソンにハマり、患者さんも一緒に治療プログラムを組んでマラソン大会に出場したそうです。

「常に、人に恵まれてきた。」と謙虚におっしゃる高橋さん、障害があってもなくても、色々な人が地域で暮らしていける社会づくり、場所づくり、集える地域づくりに貢献していきたいと力強い言葉が出ます。これからの活躍を応援いたします。



【文責 山本 由香子】

研究助成金の募集と申請時期変更のお知らせ

つるの会では、有能たる卒業生の排出を促すとともに、つるの会会員の資質の向上と社会貢献を促し、ひいては大学発展に寄与することを目的として、北海道文教大学各学部・学科における各種教育・研究及び会員の皆様が行う研究に要する費用の助成をしてまいりました。(制度変更により、現在は正会員への研究助成金のみとしております) 会員の皆様がより使いやすい助成金となるよう、改正を重ね、現在は申請時期を2期に分け、交付が4月と9月となりました。

教育研究助成活動は、同窓会活動の大きな事業の柱ととらえ、学会発表までサポートする制度として、予算化しております。(次年度予算案をご確認下さい) 詳細は、会報に同封した交付要綱を確認いただくか(ホームページにも掲載)、事務局までお問い合わせください。

これまでは、食物栄養学科・健康栄養学科の申請が多い傾向でしたが、正会員であれば全学科の同窓生が利用できます。皆様の研究の一助になれば幸いです。どうぞご活用下さい。



研究助成金交付実績一覧

交付番号	区分	学科・学部	申請者氏名	教育・研究名	実施期間
2011-01	学部学科	人間科学部 健康栄養学科	手嶋 哲子	糖尿病および脂質代謝異常の疾患を有する者に対する支援方法に関する介入研究	H23.4.1 ~ H28.3.31 (1年目/5年)
2012-01	正会員	平成19年度 健康栄養学科卒	須合 幸司	小学校6年生児童に対する生活習慣改善を目的とした介入研究「からだ元気プロジェクト」	H24.8.27 ~ H24.11.30
2012-02	正会員	昭和41年度 食物栄養学科卒	小野 幸子 高橋 千恵	タカラモノプロジェクト (雑草野草の栄養分析をし、付加価値をつけたり食文化として後世に伝える)	H24.5.8 ~ H25.3.30
2012-03	学部学科	人間科学部 健康栄養学科	手嶋 哲子	糖尿病および脂質代謝異常の疾患を有する者に対する支援方法に関する介入研究	H23.4.1 ~ H28.3.31 (2年目/5年)
2013-04	学部学科	人間科学部 作業療法学科	池田 官司	北海道における精神科作業療法の歴史を振り返る	H24.5.1 ~ H25.3.31
2013-01	正会員	平成19年度 健康栄養学科卒	須合 幸司	小学校6年生児童に対する生活習慣改善を目的とした介入研究「からだ元気プロジェクト」	H25.8.27 ~ H26.3.20 (2年目)
2013-02	学部学科	人間科学部 健康栄養学科	手嶋 哲子	糖尿病および脂質代謝異常の疾患を有する者に対する支援方法に関する介入研究	H23.4.1 ~ H28.3.31 (3年目/5年)
2013-03	学部学科	人間科学部 理学療法学科	矢口 智恵	頸部前屈姿勢が一側上肢外転運動時の注意分散能と予測的姿勢制御に及ぼす影響	H25.4.1 ~ H26.3.31
2014-01	正会員	平成19年度 健康栄養学科卒	須合 幸司	小学校6年生児童に対する生活習慣改善を目的とした介入研究「からだ元気プロジェクト」	H26.5.1 ~ H26.7.22 (3年目)
2014-02	学部学科	人間科学部 健康栄養学科	手嶋 哲子	糖尿病および脂質代謝異常の疾患を有する者に対する支援方法に関する介入研究	H23.4.1 ~ H28.3.31 (4年目/5年)
2014-03	学部学科	人間科学部 理学療法学科	矢口 智恵	手がかり信号の提示時間が視空間的手がかり課題での一側上肢外転運動時の認知処理の切り替えと予測的姿勢制御に及ぼす影響	H26.4.1 ~ H27.3.31
2018-01	正会員	平成19年度 健康栄養学科卒	須合 幸司	食器の素材・色の違いが及ぼす中学生への嗜好の影響	H30.9.3 ~ H31.3.21

平成 30 年度事業経過報告

1. 平成 29 年度同窓会総会・入会式及び卒業祝賀会（出席 56 名）

平成 30 年 3 月 17 日（土）札幌グランドホテル

2. 同窓会名簿の整理（平成 30 年 1 月末 会員数 21,998 名）

会報・支部会案内送付時の宛先不明及び更新者の整理

3. 支部会活動

支部長会議 平成 30 年 6 月 2 日 札幌第一ホテル

網走支部会 平成 30 年 7 月 21 日 あばしり湖鶴賀リゾート（参加者 25 名）

4. 大学祭への協賛及び出店

パンフレットへ同窓会広告掲載

5. 会報の発行

会報「はまなすの実」27 号 平成 31 年 1 月末 発行 10,800 部

6. ホームページの更新

行事開催の告知（総会/支部会/大学祭）、行事報告として写真掲載（総会/支部会/大学祭）

7. 卒業生への記念品

ネームペン贈答（平成 30 年度卒業生用 556 本 / 平成 30 年 2 月支払）

8. 教育研究助成金

正会員へ周知のため、会報に同封し交付要綱を発送



平成 30 年度決算見込み

収入の部			
自 平成 30 年 3 月 1 日 至 平成 31 年 2 月 28 日 (単位 円)			
科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰り越金	7,561,243	7,561,243	
会費	10,880,000	800,000 10,000,000	29 年度 40 名 × 20,000 円 = 800,000 円 30 年度 500 名 × 20,000 円 = 10,000,000 円
積立金繰入	0	0	
利息収入	500	22	普通利息収入
計	18,441,743	18,361,265	

支出の部

科 目	予 算	決 算	備 考
同窓会総会入会式及び祝賀会	1,800,000	1,544,399	平成 29 年度総会会場費、入会式及び卒業祝賀会
卒業記念品費	1,500,000	1,160,000	ネームペン 520 本
印刷費	800,000	500,000	会報、会則、総会出欠用返信葉書印刷
通信費	1,200,000	450,000	電話、切手、会報発送
事務消耗品費	300,000	150,000	事務用品、機器保守料
会議費	500,000	145,219	役員会、三役会、支部長会、会報委員会
交通費	1,200,000	452,228	役員会、三役会、支部長会、会報委員会
アルバイト費	1,000,000	900,000	2 名分
ホームページ管理費	259,200	259,200	管理費用 21,600 円/月
支部会開催費	5,000,000	1,143,566	講演料、懇親会、案内葉書印刷、発送料他
教育研究助成金	2,000,000	279,568	正会員
大学祭協賛費	80,000	15,000	大学祭協賛金（大学祭案内広告掲載）
大学祭参加費	200,000	0	
積立金	1,000,000	1,000,000	基本金積立
予備費	700,000	0	
次年度繰越金	902,543	10,362,085	
計	18,441,743	18,361,265	

平成 31 年度予算（案）

収入の部			
自 平成 31 年 3 月 1 日 至 平成 32 年 2 月 29 日 (単位 円)			
科 目	予 算	備 考	
前年度繰り越金	10,362,085		
会費	11,360,000	平成 31 年度 4 年生 568 名	
利息収入	500	普通利息収入	
計	21,722,585		

支出の部

科 目	予 算	備 考
同窓会総会入会式及び祝賀会	1,800,000	平成 30 年度総会会場費、入会式及び卒業祝賀会
卒業記念品費	1,500,000	平成 31 年度卒業記念品ネームペン
印刷費	1,000,000	会報印刷、総会出欠用返信葉書印刷
通信費	1,500,000	電話、切手、会報発送
事務消耗品費	500,000	事務用品、コピー機リース、機器保守料
会議費	500,000	役員会、三役会、支部長会、会報委員会
交通費	1,200,000	役員会、三役会、支部長会、会報委員会
アルバイト費	1,000,000	2 名分
ホームページ管理費	259,200	21,600 円/月
支部会開催費	3,000,000	上川支部、後志支部、会場、講演会、案内印刷発送、懇親会
教育研究助成金	2,000,000	
大学祭への協賛費	80,000	大学祭協賛
大学祭への出店	200,000	大学祭参加費用
積立金	1,000,000	
予備費	2,700,000	会則改正に伴う入会促進活動対応費用
次年度繰越金	3,483,585	
計	21,722,585	

平成 30 年度つるの会総会・同窓会入会式のご案内

日時 平成 31 年 3 月 16 日 (土)
総会 16 時 30 分から
同窓会入会式 18 時から (祝賀会中に執り行います)

場所 札幌グランドホテル 札幌市中央区北一条西四丁目
総会 別館 4 階「こまくさ」
同窓会入会式 別館 2 階グランドホール

出欠 会報に同封の葉書でお申し込みください。
(電話、FAX、E-Mail でも受け付けています)

締切 平成 31 年 2 月 28 日 (木)
※ 同窓会入会式 (祝賀会) のみの出席は参加費のお支払いをお願いします。



～鶴岡新太郎・トシ銅像の移設

昭和 17 (1942) 年の北海道女子栄養学校設立以来、創立者御夫妻の先見の明とご苦勞、その功績を称え、昭和 43 (1968) 年・昭和 58 (1983) 年に同窓会が寄贈し、札幌キャンパスへ胸像が建立されていました。平成 29 (2017 年)、ご夫妻の像は、鶴岡学園創立 75 周年を機に、恵庭キャンパス内へ移設されています。正門を入り、右手側、「鶴岡記念講堂」の横にあります。皆様、恵庭市を訪れた際には、是非お立ち寄りください。



編集後記

2018 年 9 月の北海道胆振東部地震で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。特に震源に近い地域では、日常生活を未だに取り戻せない方もいらっしゃる程の被害の大きさに大変な状況であるとお察し申し上げます。私個人としても北海道を離れ 5 年経過しますが、生まれ育った地の災害に自分事として、心を痛めておりました。同窓会活動にもその影響により、9 月に予定しておりました、上川支部会を中止し、来年度の開催へと変更することとなりました。支部会の年 2 回開催は残念ながら、次年度からとなることを改めてお知らせ致します。



また、今号は今年度の同窓会活動が縮小した影響から、ページ数を減らしての発刊となることをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。会報を楽しみにしてくださっている会員の皆様には申し訳なく、ご理解頂けますようお願い申し上げます。次年度の活動、次号の会報は、2018 年のやりきれなかった悔しさをエネルギーに変え、それぞれの担当者が 120% の力を発揮して取り組んでいくことで、お許し頂ければ幸いです。

【文責 工藤 鉄也】

会報及びホームページ委員

榎本 浩司 (食 26 期) 山本 由香子 (食 32 期)
工藤 鉄也 (食 36 期) 須合 幸司 (健康栄養 1 期)
熊野 彰俊 (中国 3 期) 楠 拓也 (理学 3 期)

つるの会事務局

〒061-1449 北海道恵庭市黄金中央町 5 丁目 196 番地 1
Tel 0123-34-2515
Fax 0123-25-5350
E-Mail tsurunokai@chic.ocn.ne.jp
URL www.tsurunokai.net